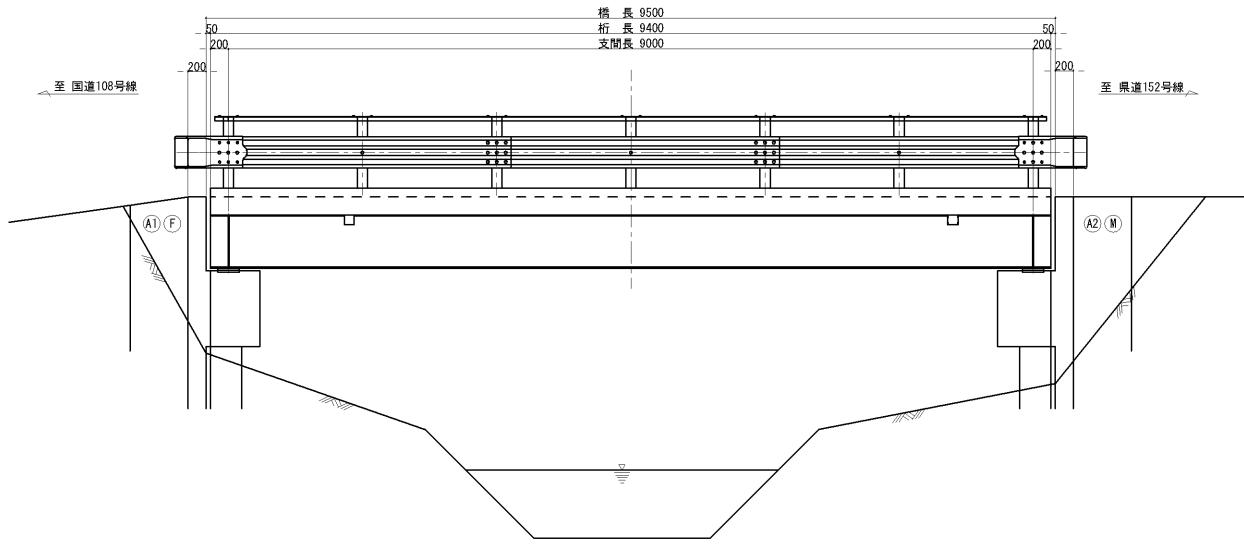
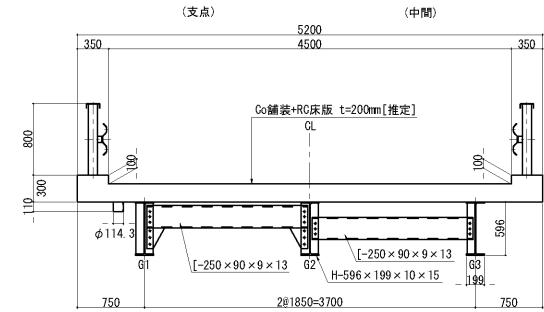


掃部沖名橋 現況一般図

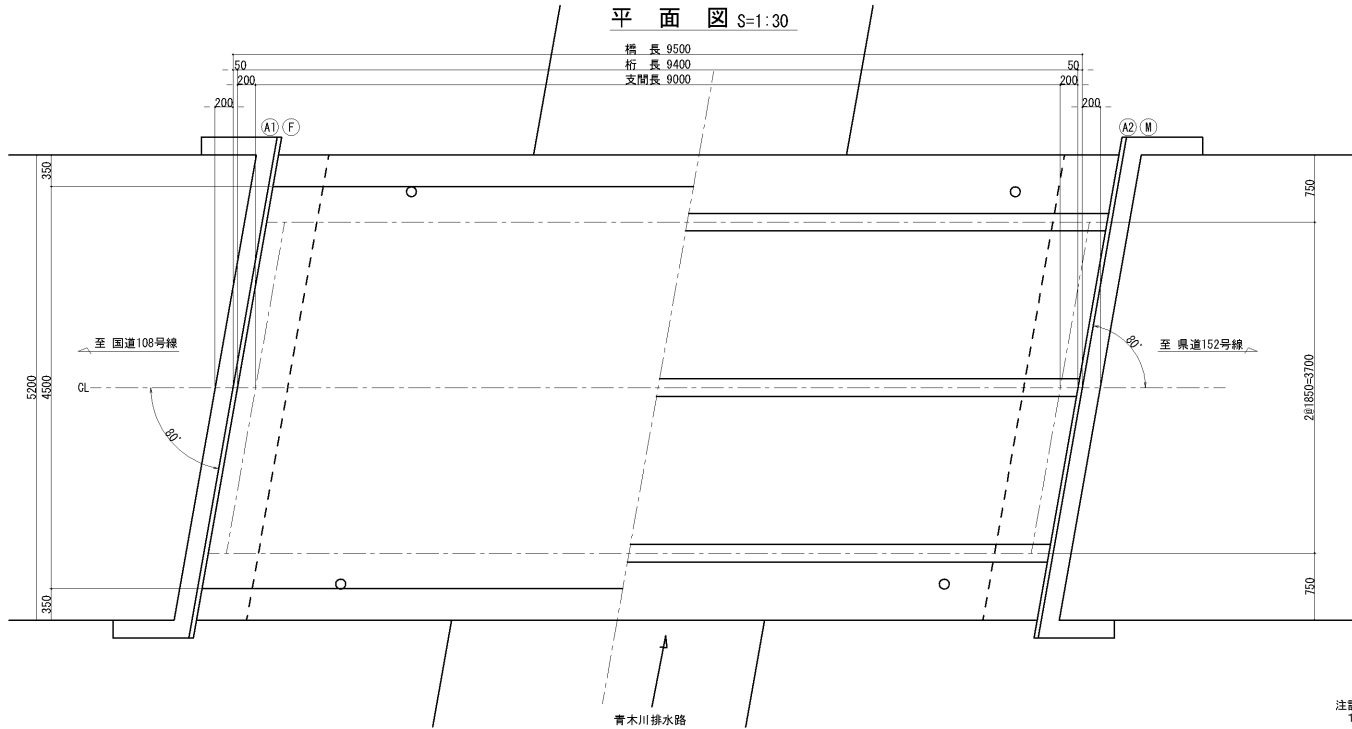
側面図 S=1:30



断面図 S=1:30



平面図 S=1:30



設計条件

橋種	鋼橋
交差条件	線形橋
型式	鋼桁橋
橋長	9,500m
幅員	5,200m(有効4,500m)
斜角	80°
活荷重	不明
添架物	なし
躯体形式	橋台 バイエルメント式橋台
基礎形式	橋台 不明
適用方量	昭和31年指示
竣工年	昭和40年

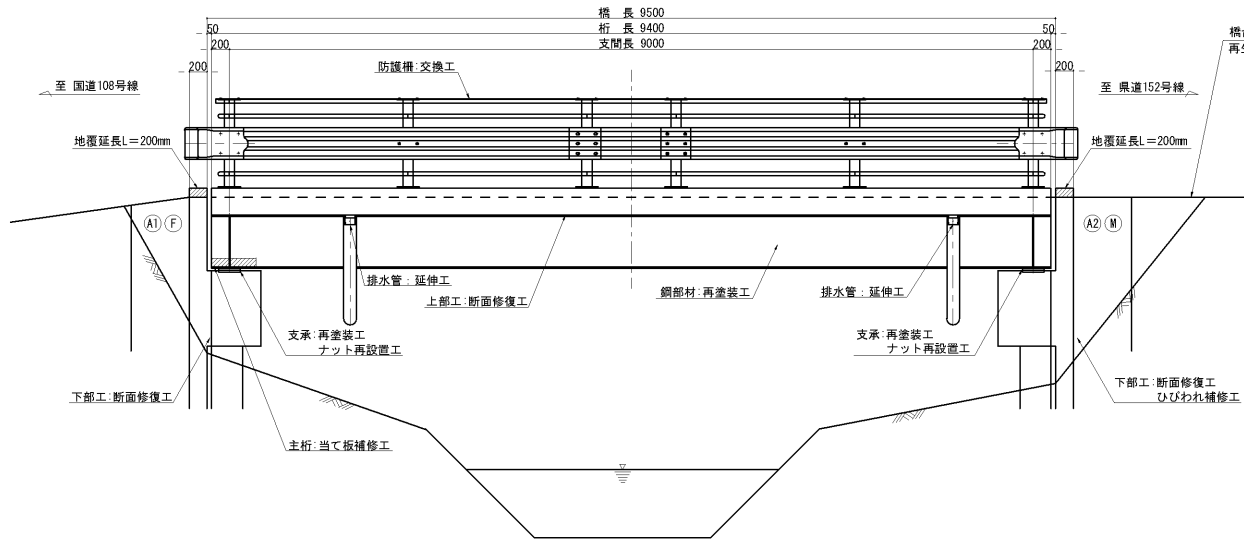
注記

- 1 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。
- 2 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。

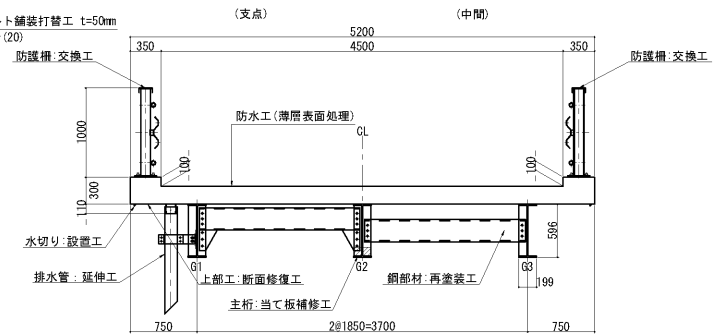
工事番号	号
路線名	涌谷田沼線
施工地名	涌谷市 小谷地26-1 地内
工事名	令和7年度(補修補正)掃部沖名橋橋梁補修工事
図面名	掃部沖名橋 現況一般図
縮尺	図示 位置
設計者	設計年度
涌谷町	図番

掃部沖名橋 補修対策工一般図

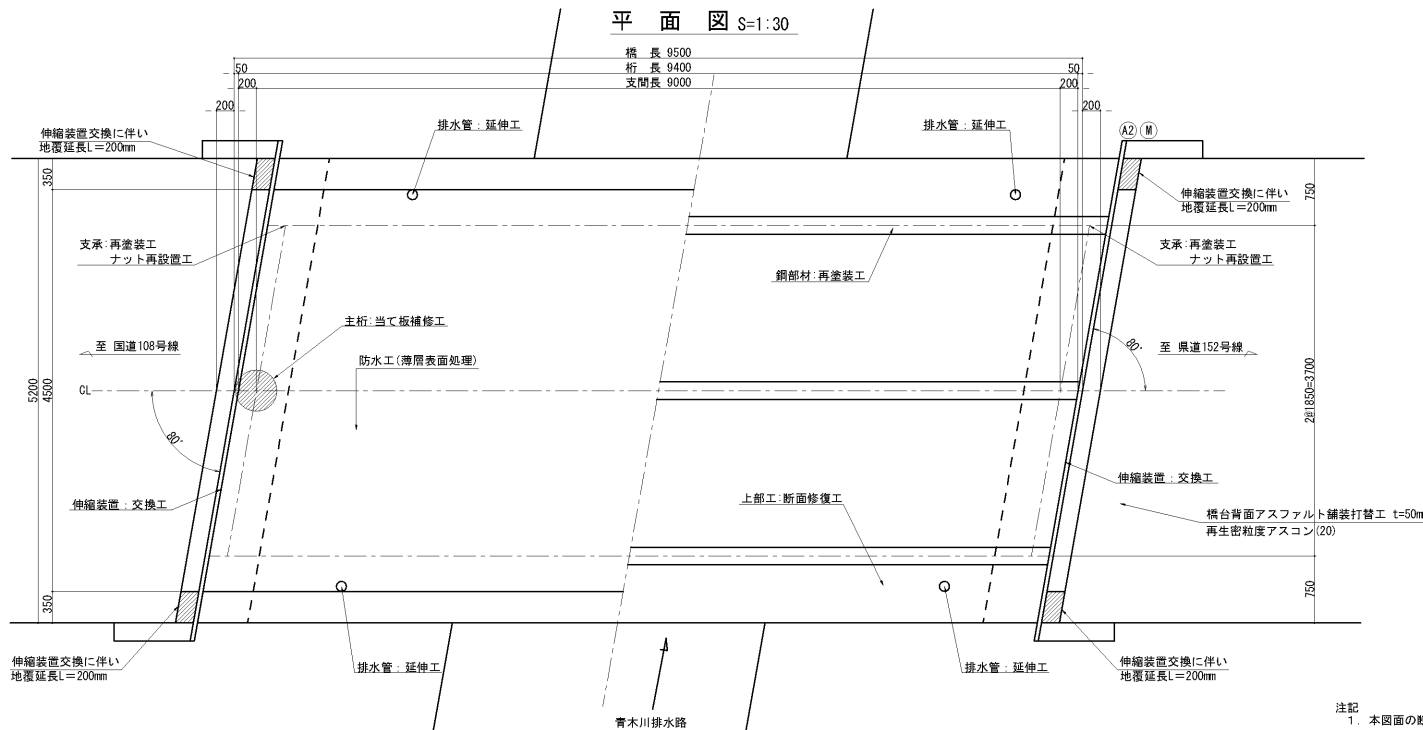
側面図 S=1:30



断面図 S=1:30



平面図 S=1:30



補修・補強項目一覧表

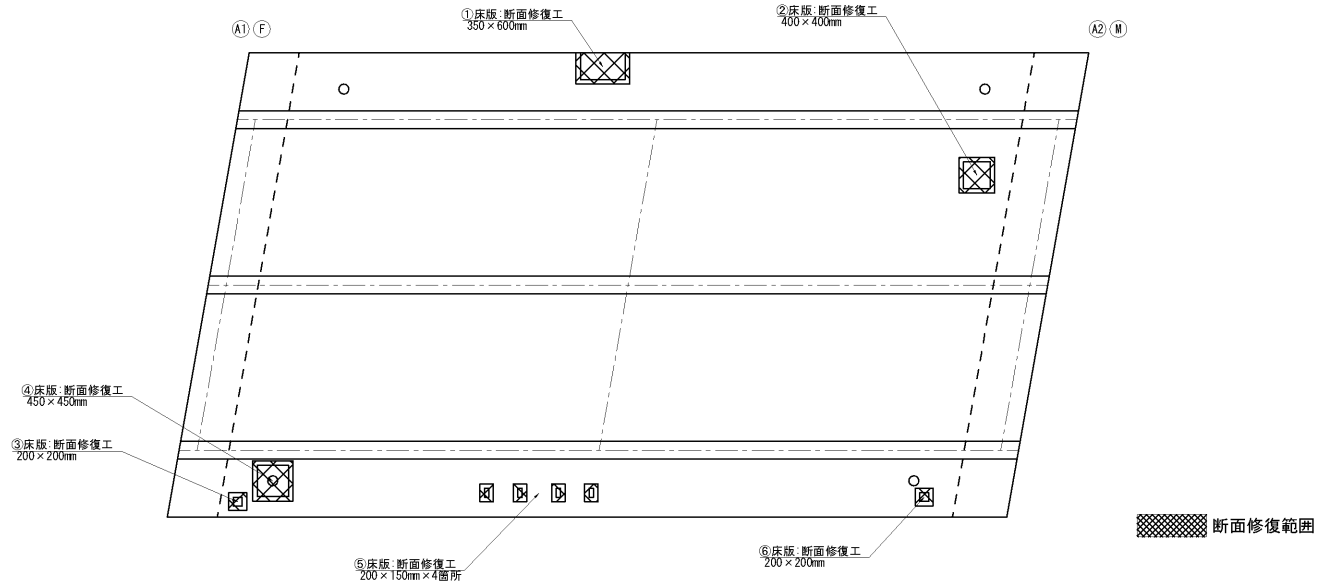
工種	部 位	備 考
上部工補修工	床版	断面修復工
下部工補修工	A1, A2橋台	断面修復工・ひびわれ補修工
鋼部材再塗装工	主桁・横桁	
支承補修工	支承	再塗装工・ナット再設置工
防護柵交換工	防護柵	
水切り設置工	床版	
橋面防水工	橋面	防水工(薄層表面処理)
伸縮装置交換工	伸縮装置	
橋台背面舗装打替工	舗装	As舗装打替工 t=50mm 再生密粒度As(20)
排水管延伸工	排水管	
当て板補修工	主桁A1G2	

工事番号	号
路線名	涌谷田沼線
施工地名	涌谷 小谷地26-1 地内
工事名	令和7年度(河川補正)掃部沖名橋橋梁補修工事
図面名	掃部沖名橋 補修対策工一般図
縮尺	図示 位置
設計者	設計年度
涌谷町	図番

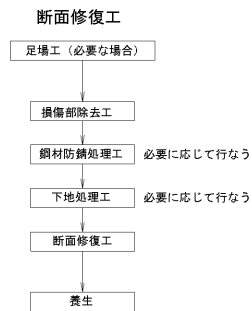
注記
 1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。
 2. 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。

掃部沖名橋 上部工補修工図

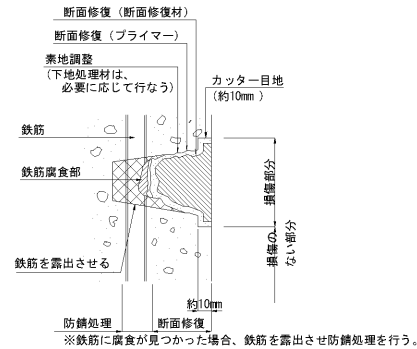
桁下図 S=1:30



施工手順フロー



断面修復工詳細図 (参考図)



断面修復工数量表

※修復深さは5cmを目安とする。

位置	単位	数量計算	数量	摘要
①	m ³	0.35×0.60×0.05	= 0.011	
②	m ³	0.40×0.40×0.05	= 0.008	
③	m ³	0.20×0.20×0.05	= 0.002	
④	m ³	0.45×0.45×0.05	= 0.011	
⑤	m ³	0.20×0.15×0.05×4	= 0.006	
⑥	m ³	0.20×0.20×0.05	= 0.002	
合計	m ³		= 0.040	

注記

1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。
2. 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。
3. 鉄筋の損傷が著しい場合、発注者と協議の上対策を講じること。
4. 健全な部分のコンクリートまではつり取らない様、留意すること。
5. 河川中央部の補修は、鋼部材再塗装工の足場を利用して施工すること。

工事番号	号		
路線名	涌谷田沼線		
施工地名	涌谷 町	小谷地26-1	地内
工事名	令和7年度(河川補正)掃部沖を橋梁架設補修工事		
図面名	掃部沖名橋 上部工補修工図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計	年度
涌谷町	図番		

掃部沖名橋 下部工補修工図

A1橋台 S=1:30

側面図

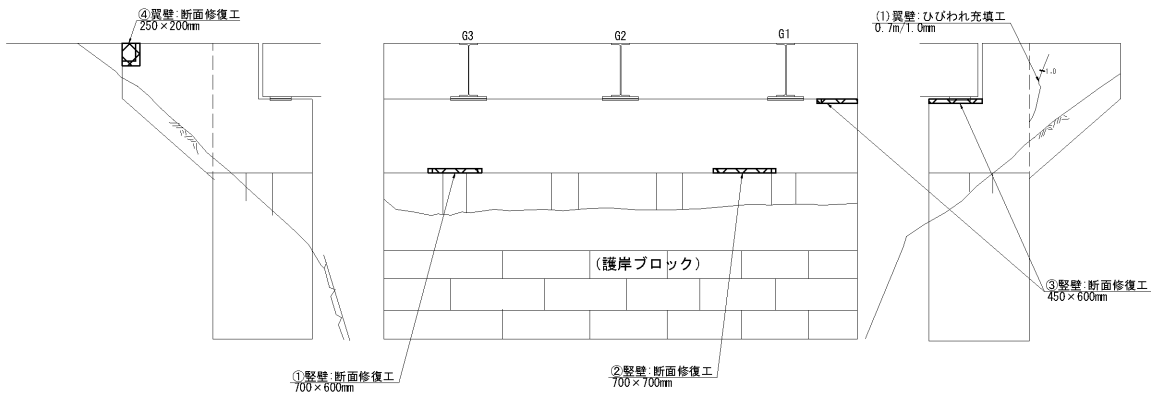
一盛土 R A2→

断面図 (A2から見た図)

正面

側面図

→A2 L 盛土→



A2橋台 S=1:30

側面図

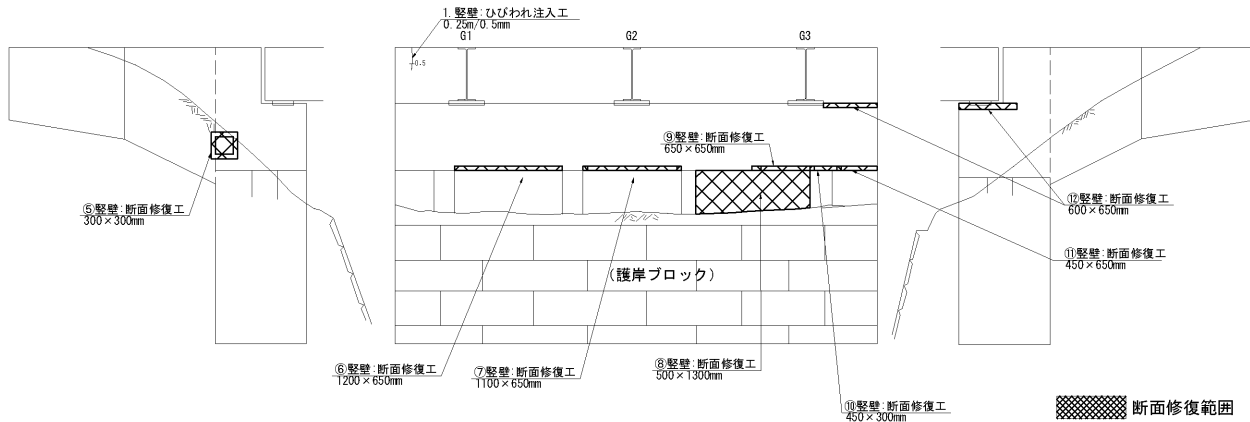
一盛土 L A1→

断面図 (A1から見た図)

正面

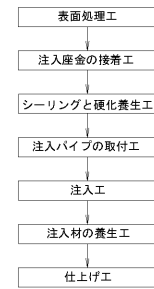
側面図

→A1 R 盛土→

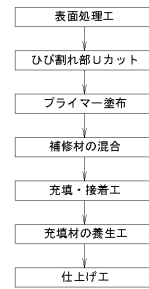


施工手順フロー

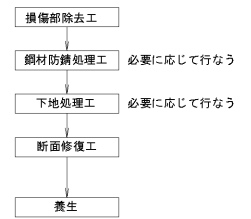
ひび割れ注入工



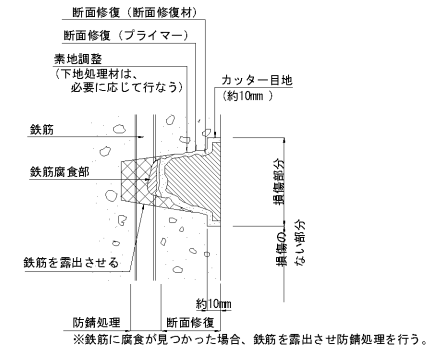
ひび割れ充填工



断面修復工



断面修復工詳細図 (参考図)



ひびわれ補修工数量表

位置	単位	数量	備考
A1橋台 (1)	m	0.70	1.00mm
合計	m	0.70	ひびわれ充填工
A2橋台	m	0.25	0.50mm
合計	m	0.25	ひびわれ注入工

断面修復工数量表

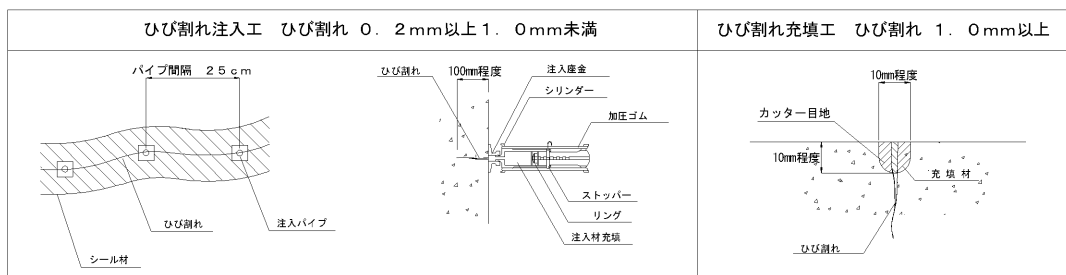
※修復深さは5cmを目安とする。

位置	単位	数量計算	数量	備考
①	m ³	0.70×0.60×0.05	= 0.021	
②	m ³	0.70×0.70×0.05	= 0.025	
③	m ³	0.45×0.60×0.05	= 0.014	
④	m ³	0.25×0.20×0.05	= 0.003	
⑤	m ³	0.30×0.30×0.05	= 0.005	
⑥	m ³	1.20×0.65×0.05	= 0.039	
⑦	m ³	1.10×0.65×0.05	= 0.036	
⑧	m ³	0.50×1.30×0.05	= 0.033	
⑨	m ³	0.65×0.65×0.05	= 0.022	
⑩	m ³	0.45×0.30×0.05	= 0.007	
⑪	m ³	0.45×0.65×0.05	= 0.015	
⑫	m ³	0.60×0.65×0.05	= 0.020	
合計	m ³		= 0.240	

注記

- 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。
- 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。
- 鉄筋の損傷が著しい場合、発注者と協議の上対策を講ずること。
- 健全な部分のコンクリートまではつり取らない様、留意すること。

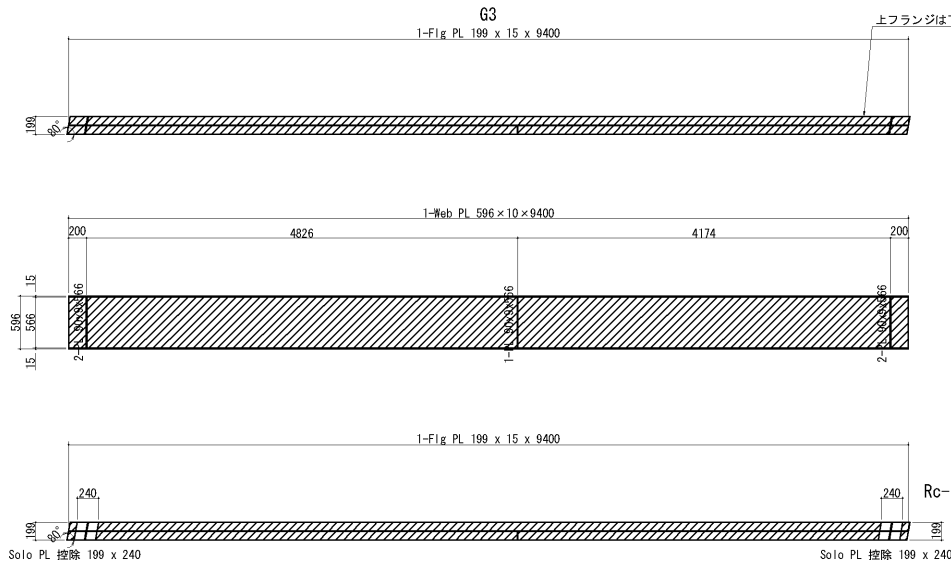
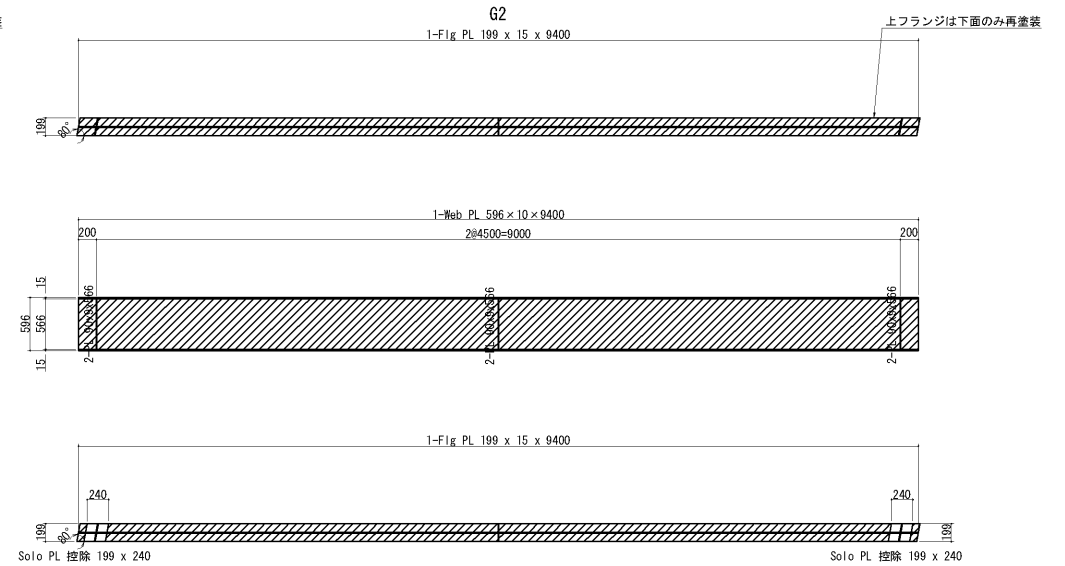
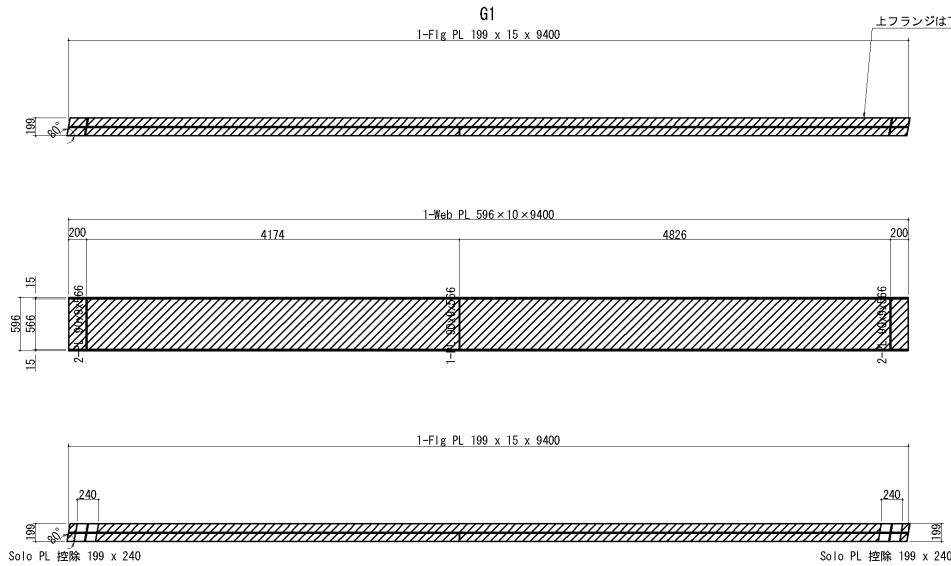
ひび割れ補修工詳細図 (参考図)



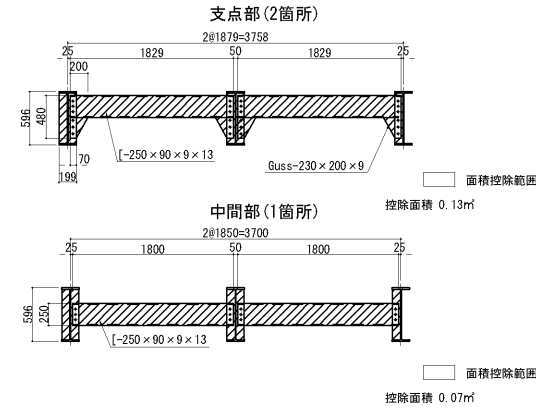
工事番号	号
路線名	蒲谷田沼線
施工地名	蒲谷 小谷地26-1 地内
工事名	令和7年度 蒲谷橋工 掃部沖名橋 下部工補修工事
図面名	掃部沖名橋 下部工補修工図
縮尺	図示
設計者	位置
	設計年度
蒲谷町	図番

掃部沖名橋 鋼部材再塗装工図

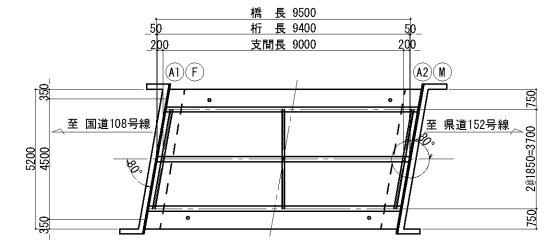
主桁 S=1:30



横桁詳細図 S=1:30



位置図 S=1:100



Rc-I 塗装系 (スプレー)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	1 種		4時間以内
下塗	有機ジソクリッチペイント	600	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日~10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗	170	1日~10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日~10日

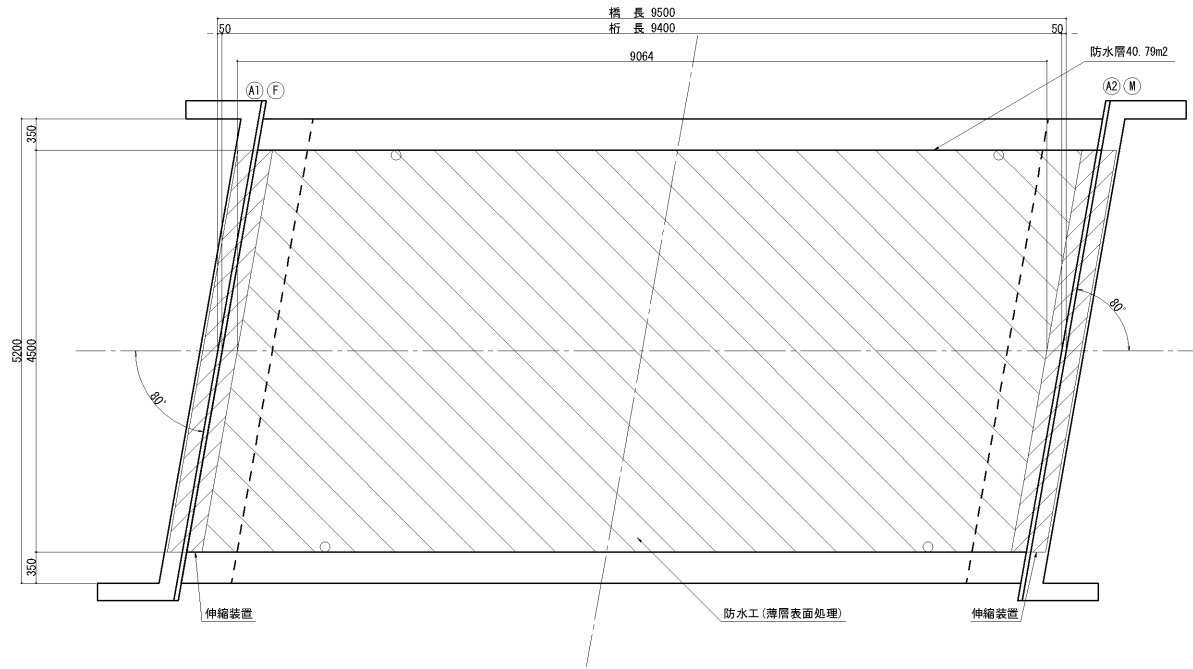
注記

- この図面は、既存資料・現地検測により作成したものである。
- 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
- 鋼材腐食部へのケレン作業により、著しく断面減少となった場合は、監督員と協議して、別途対策工を講ずること。
- プラスト (ケレン) によるさびやケレンダストを飛散させないよう防護設備を設置すること。

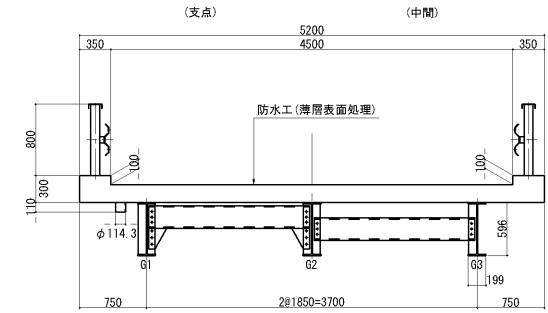
工事番号	号
路線名	涌谷田沼線
施工地名	涌谷市 小谷地26-1 地内
工事名	令和7年度(補修補正)掃部沖名橋鋼部材再塗装工事
図面名	掃部沖名橋 鋼部材再塗装工図
縮尺	図示 位置
設計者	設計年度
涌谷町	図番

掃部沖名橋 橋面防水工図

平面図 S=1:30

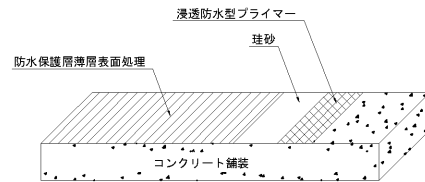


断面図 S=1:30

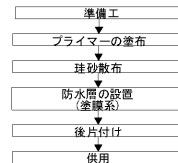


橋面舗装 補修概要図

コンクリート舗装部の構成断面



施工順序



橋面防水工数量集計

項目		単位	数量	備考
浸透防水型プライマー	プライマー	m2	40.79	
	珪砂	m2	40.79	
防水保護層薄層表面処理	塗膜系	m2	40.79	

工事番号	号		
路線名	蒲谷田沼線		
施工地名	蒲谷 町	小谷地26-1	地内
工事名	令和7年度(建設補正)掃部沖名橋橋面防水工		
図面名	掃部沖名橋 橋面防水工図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計	年度
蒲谷町	図番		

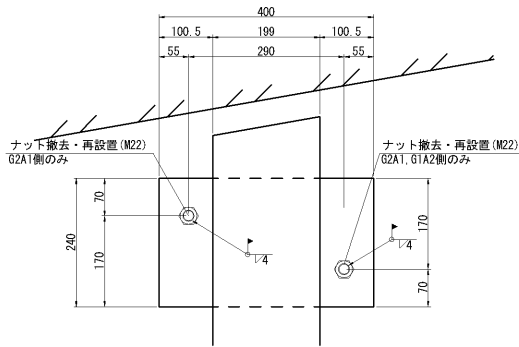
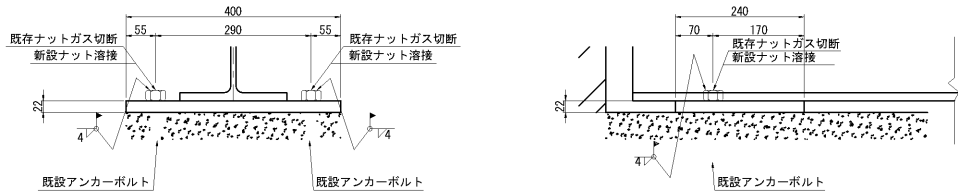
注記

- 1 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。
- 2 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。

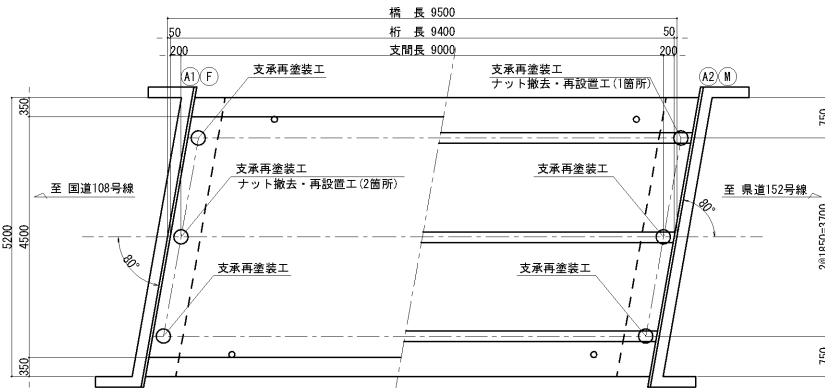
掃部沖名橋 支承補修工図

(ナット撤去・再設置工)
 支承詳細図 S=1:5

全3箇所 (G2A1側2箇所, G1A2側1箇所)

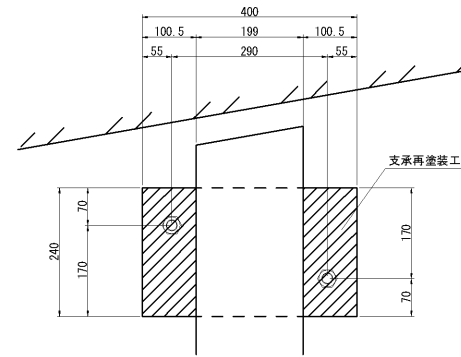
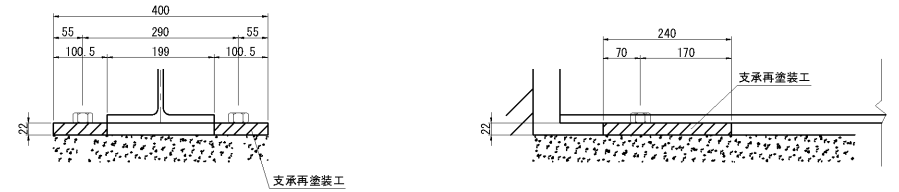


位置図 S=1:50



(支承再塗装工)
 支承詳細図 S=1:5

全6箇所 (Fix・Mov)



塗装面積1箇所当たり 0.06m²

支承補修工数量表

種別	単位	数量		合計
		Mov	Fix	
支承再塗装工	基	3	3	6
	m ²	0.21	0.21	0.42
ナット撤去・再設置工	個	1	2	3

Rc-I 塗装系 (スプレー)

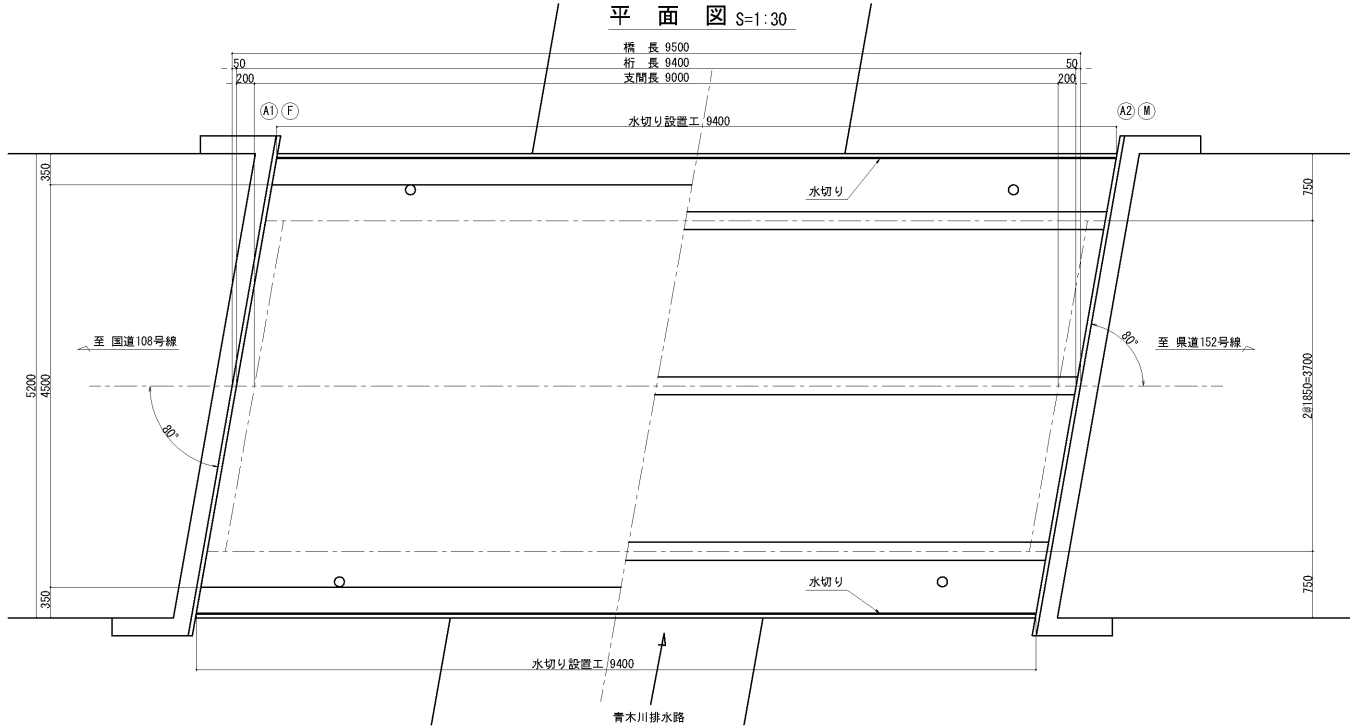
塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	1種		4時間以内
下塗	有機ジンクリッチペイント	600	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日~10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日~10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日~10日

- 注記
- この図面は、既存資料・現地検測により作成したものである。
 - 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
 - プラスト(ケレン)によるさびやケレンダストを飛散させないよう防護設備を設置すること。
 - 支承の塗装塗替えは、全基行う。

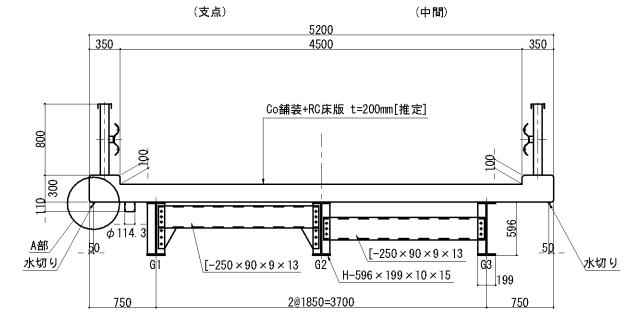
工事番号	号		
路線名	涌谷田沼線		
施工地名	涌谷 町	小谷地26-1	地内
工事名	令和7年度(第2期)掃部沖名橋橋脚補修工事		
図面名	掃部沖名橋 支承補修工図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計	年度
涌谷町		図番	

掃部沖名橋 水切り設置工図

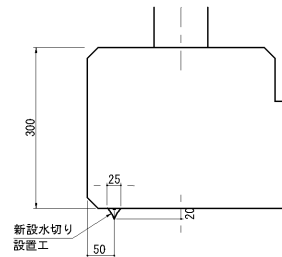
平面図 S=1:30



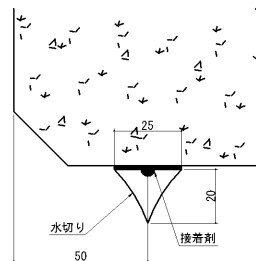
断面図 S=1:30



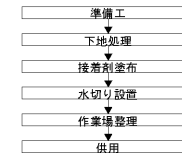
A部詳細図 S=1:5



水切り詳細図 S=1:1



水切り設置工



水切り設置工集計表

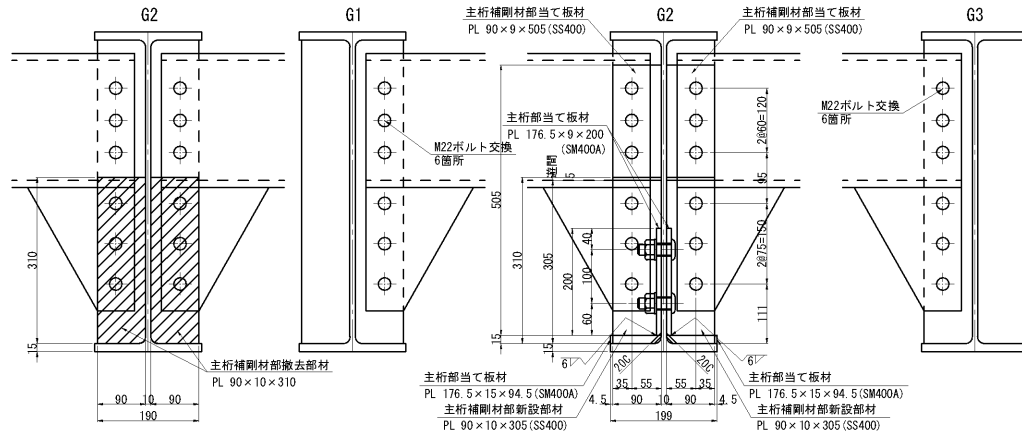
位置	単位	数量	摘要
上流側	m	9.40	
下流側	m	9.40	
合計	m	18.80	

- 注記
1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。
 2. 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。
 3. 水切り材の長さの調整は施工時現地で行うこと。

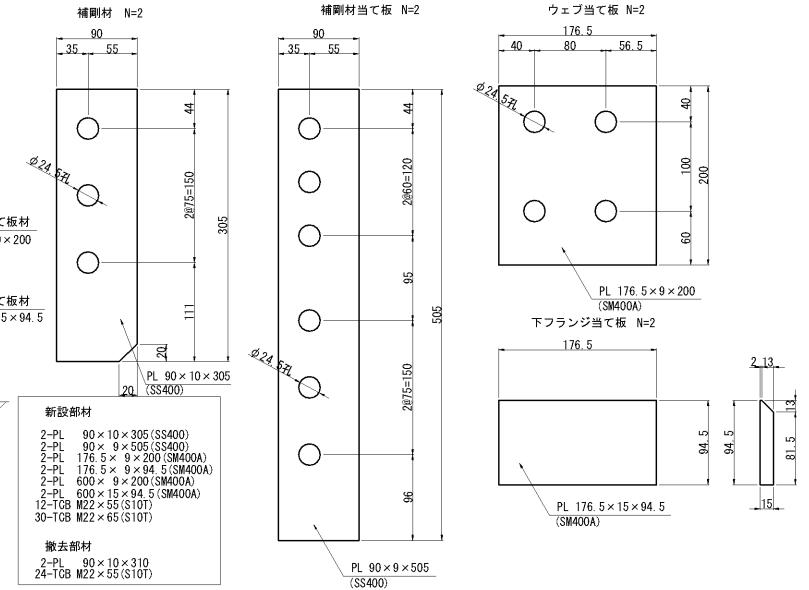
工事番号	号		
路線名	蒲谷田沼線		
施工地名	蒲谷 町	小谷地26-1	地内
工事名	令和7年度(河川維持)掃部沖名橋橋梁修繕工事		
図面名	掃部沖名橋 水切り設置工図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計	年度
蒲谷町	図番		

掃部沖名橋 当て板補修工図

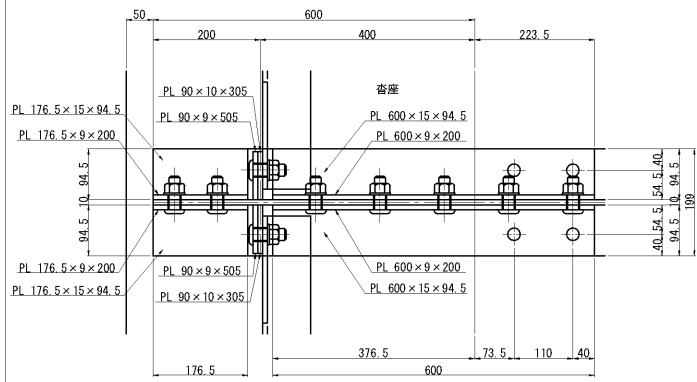
断面図 S=1:5
新設図



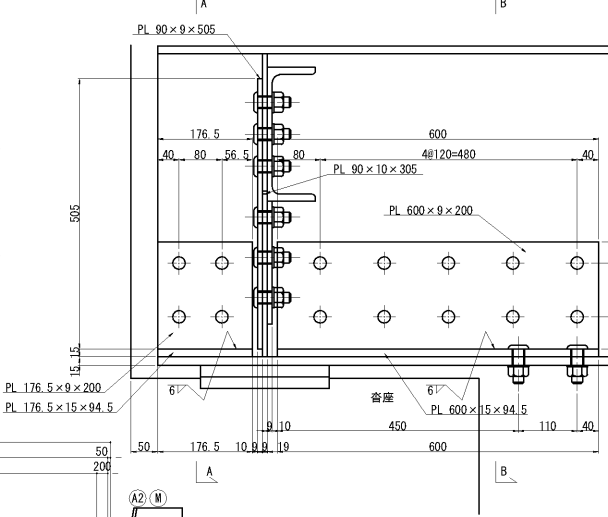
新設部材詳細図 S=1:3



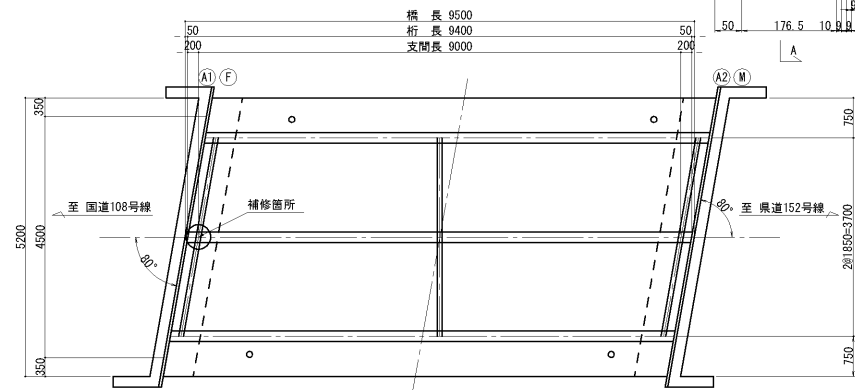
平面図 S=1:5



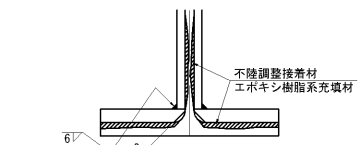
側面図 S=1:5



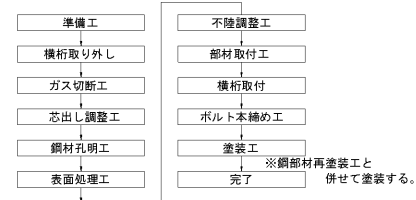
位置図 S=1:50



不陸調整参考図 S=1:3



施工フロー

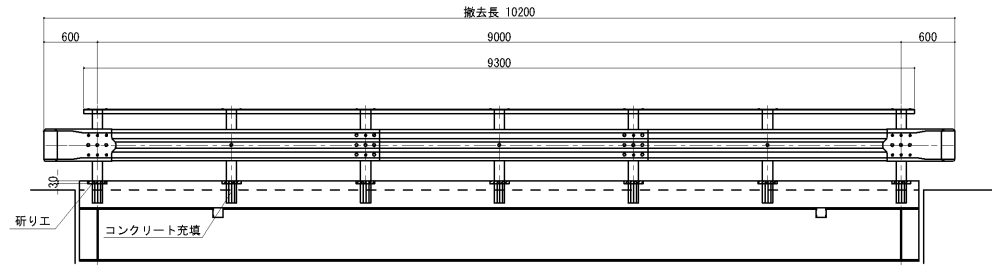


- 注記
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成したものである。
 2. 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
 3. 工場加工部材は防食下地まで塗り、現場で取り付け後鋼部材再塗装工と併せて塗装を行うこと。
 4. PL切断後の切断面はグラインダー処理を行い平坦にすること。
 5. 取付ボルトは、施工によってはM22 (F10T) を使用可能とする。
 6. 板厚減少部には、十分に不陸調整接着材を充填し平坦にすること。

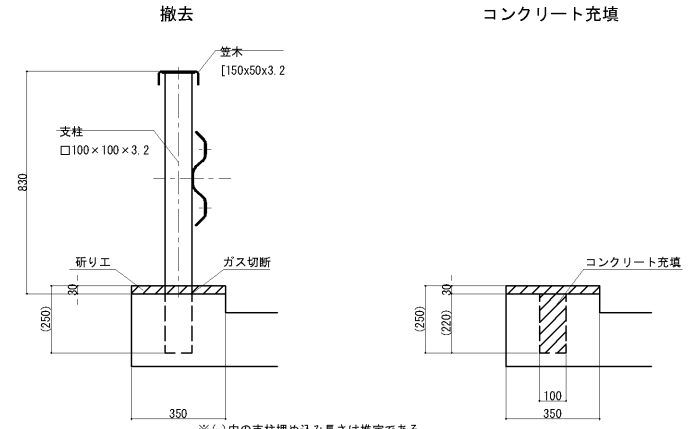
工事番号	号
路線名	涌谷田沼線
施工地名	涌谷(市) 小谷地26-1 地内
工事名	令和年度(補修)掃部沖名橋橋脚補修工事
図面名	掃部沖名橋 当て板補修工図(1)
縮尺	図示
設計者	位置
涌谷町	図番

掃部沖名橋 防護柵補修工図(1)

撤去側面図 S=1:30



防護柵断面図 S=1:10

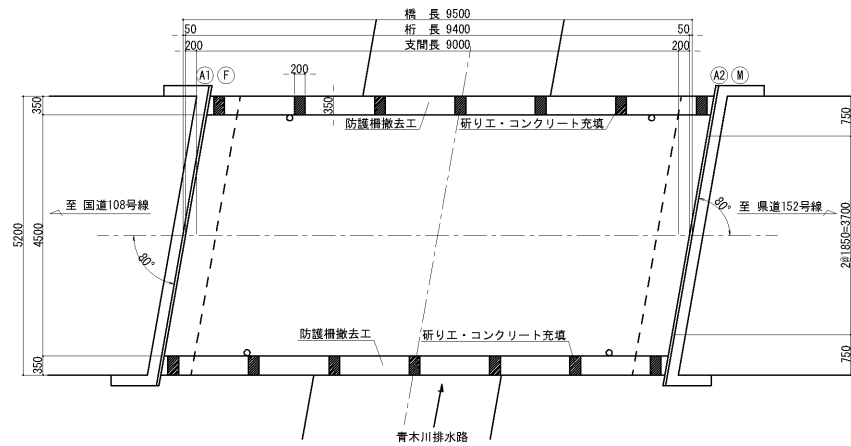


※()内の支柱埋め込み長さは推定である

・新り体積a(1箇所当り)
 $a = 0.20 \times 0.35 \times 0.03 = 0.0021m^3$

・コンクリート充填体積b(1箇所当り)
 $b = a + 0.10 \times 0.10 \times 0.22 = 0.0021 + 0.0022 = 0.0043m^3$

位置図 S=1:50



防護柵撤去工 数量表

種別	規格	単位	数量	備考
防護柵長		m	20.4	
新り工		m ³	0.03	
コンクリート充填		m ³	0.06	
型枠工		m ²	0.17	
ガス切断		m	5.6	
鋼材撤去重量		t	0.4	

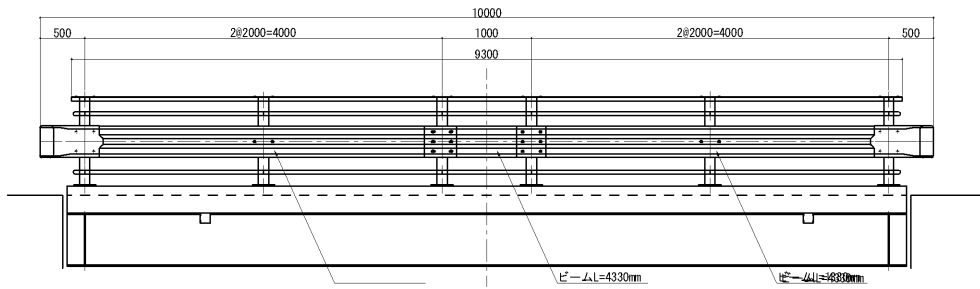
工事番号	号
路線名	蒲谷田沼線
施工地名	蒲谷 小谷地26-1 地内
工事名	令和7年度(河川)蒲谷田沼橋架設補修工事
図面名	掃部沖名橋 防護柵補修工図(1)
縮尺	図示 位置
設計者	設計年度
蒲谷町	図番

注記

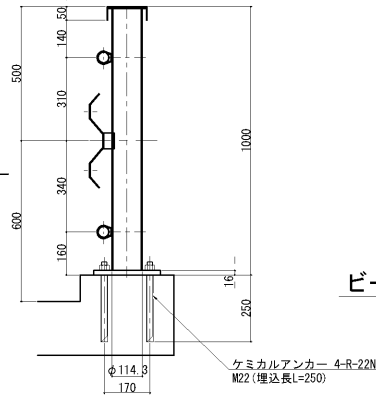
- 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。
- 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。

掃部沖名橋 防護柵補修工図(2)

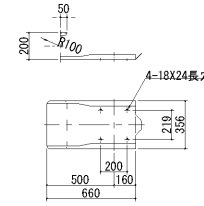
側面図 S=1:30



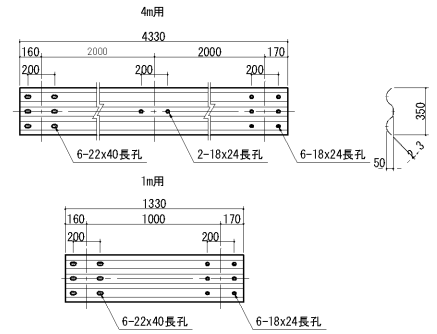
断面図 S=1:10



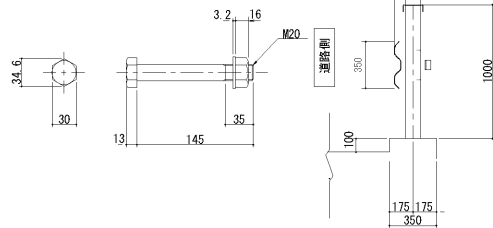
袖ベーム S=1:20



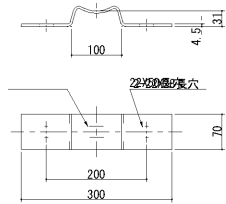
ベーム S=1:20



ブラケット取付用B.N.W. S=1:5

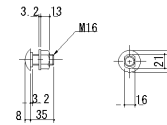


ブラケット S=1:8

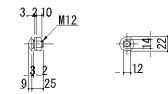


注記：本図は道路側から見た図面である。

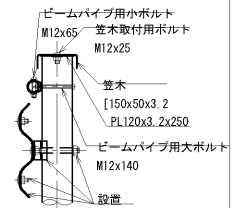
ベーム取付用B.N.W. S=1:5



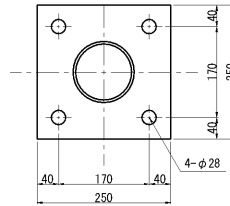
笠木取付用B.N.W. S=1:5



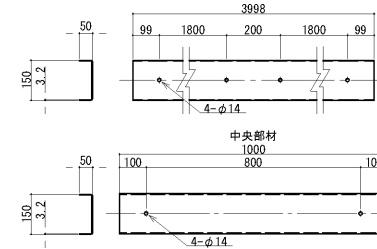
取付詳細図 S=1:10



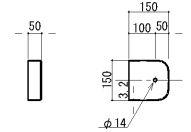
ベースプレート詳細図 S=1:5



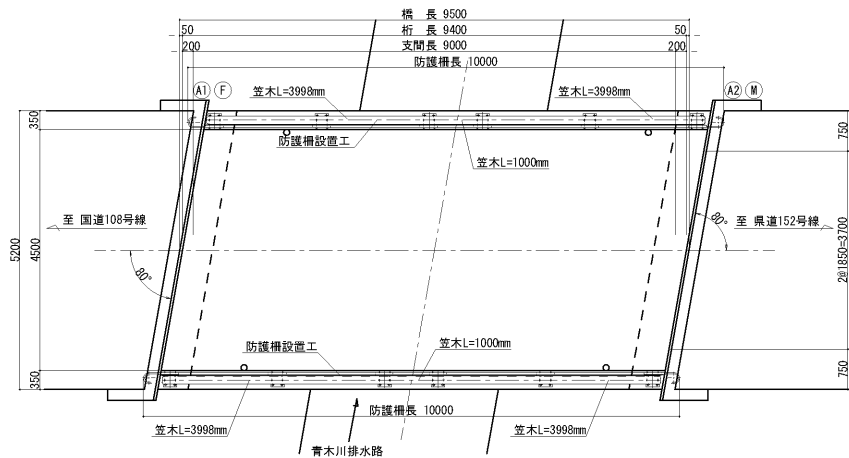
笠木詳細図 S=1:10



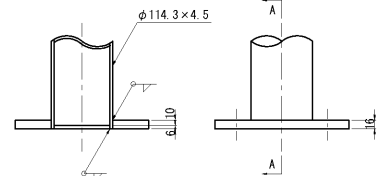
端部笠木詳細図 S=1:10



位置図 S=1:50



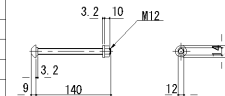
A-A



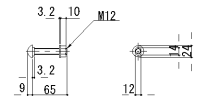
防護柵新設工 数量表

種別	規格	単位	数量	備考
新設数量				
袖ベーム	C種	枚	4	
笠木	[150×50×3.2	m	18.6	
ベーム	C種	m	18.0	
支柱	C種	本	12	
ベースプレート	250×250×16	枚	12	
ブラケット取付用B.N.W.	M20	組	12	
ベーム取付用B.N.W.	M16	組	56	
笠木取付用B.N.W.	M12	組	24	
2mベームパイプ		本	16	
1mベームパイプ		本	4	
袖パイプ		個	8	
ベームパイプ用ブラケット		個	24	
ベームパイプ用大ボルト	M12	組	24	
ベームパイプ用小ボルト	M12	組	48	
ケミカルアンカー	M22(埋込長L=250)	本	48	

ベームパイプ用大ボルト S=1:5



ベームパイプ用小ボルト S=1:5



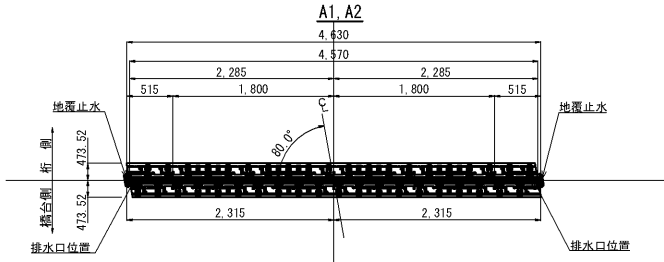
注記
1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。
2. 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。

工事番号	号
路線名	涌谷田沼線
施工地名	涌谷 小谷地26-1 地内
工事名	令和7年度(河川)河川維持管理費を関係費に充てる工事
図面名	掃部沖名橋 防護柵補修工図(2)
縮尺	位置
設計者	設計年度
涌谷町	図番

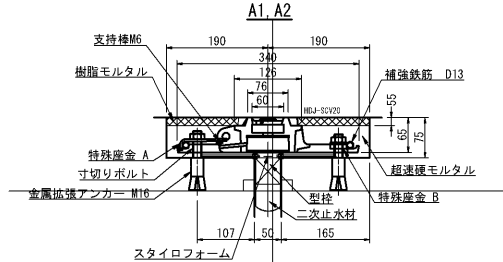
掃部沖名橋 伸縮装置設置工図

A1, A2 (車道部)

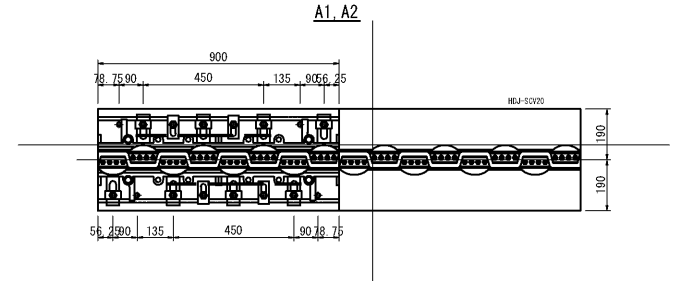
配置図 S=1:30



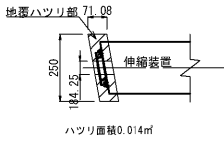
標準取付断面図 S=1:5



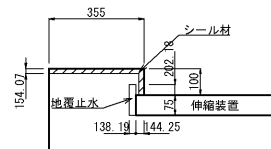
標準取付平面図 S=1:10



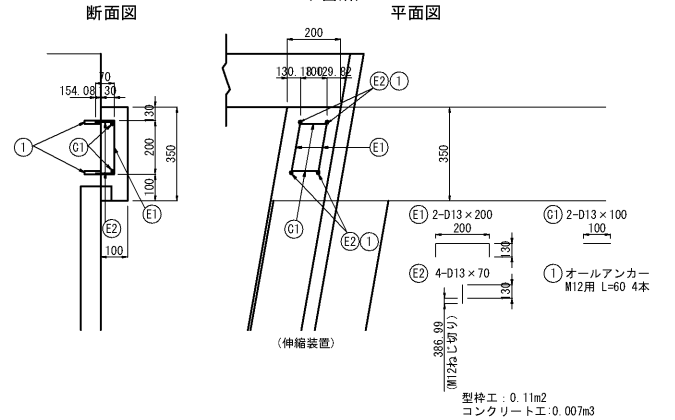
地覆部断面図 S=1:10



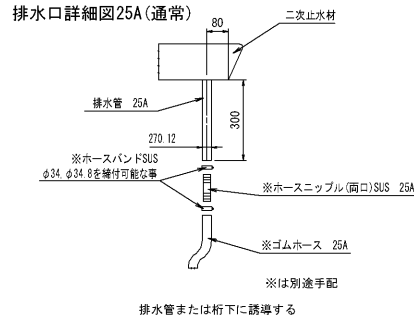
地覆部詳細図 S=1:10



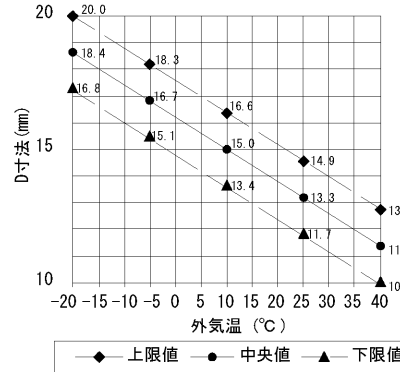
地覆新設工図 S=1:10



排水口詳細図 S=1:10



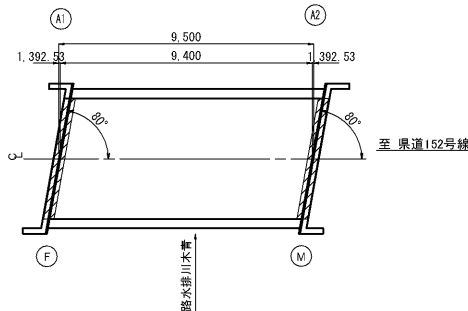
<A2の設置遊間表>



伸縮装置集計表

品名	仕様・規格	単位	A1		A2		合計	備考
			車道用	車道用	車道用	車道用		
伸縮装置	HDJ-SCV20	m	4.630	4.630	9.260		鋼鉄製・荷重支持型 (別途割資材必要)	
排水管	HDJ-S 16	個	2	2	4		(別途割資材必要)	
二次止水 (緑形)	HDJ-OP-R250	m	4.630	4.630	9.260		伸縮量20/40mm用 (別途割資材必要)	
補強鉄筋	2-D13×4.57	kg	9.09	9.09	18.18		0.995kg/m	
金属拡張アンカー	M16	本	80	80	160			
寸切りボルト	M6	本	80	80	160			
特殊座金A		個	16	16	32			
特殊座金B		個	40	40	80			
支持棒	M6×500	本	12	12	24			
超硬モルタル	σ _{ck} = 24N/mm ² 以上	m ³	0.093	0.093	0.186			
新着修復材		m ³	0.004	0.004	0.008			
樹脂モルタル	ドロガード	m ³	0.023	0.023	0.046		(別途割資材必要)	
地覆新設工		m ²	-	-	0.44			
コンクリート工		m ³	-	-	0.03			
鉄筋重量	SD345 D13	kg	-	-	4.4		0.995kg/m	
コンクリートアンカー	オールアンカー-M12	本	-	-	16			

位置図 S=1:100



鉄筋表

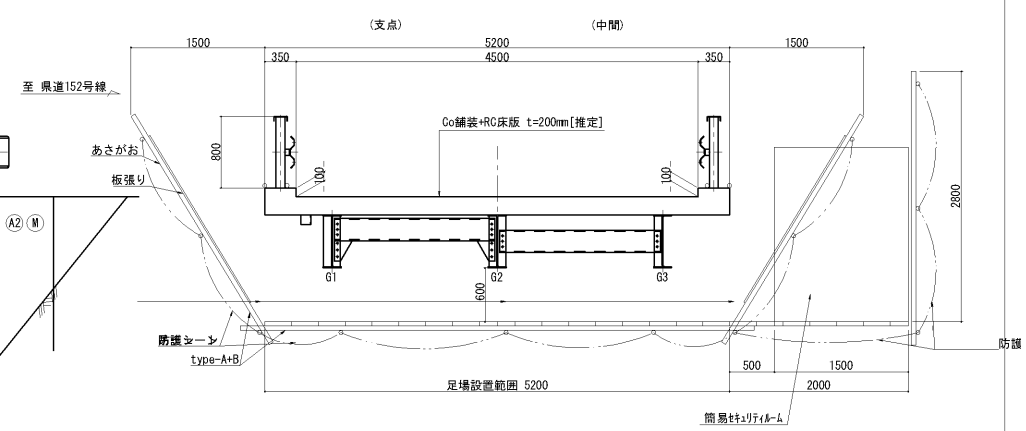
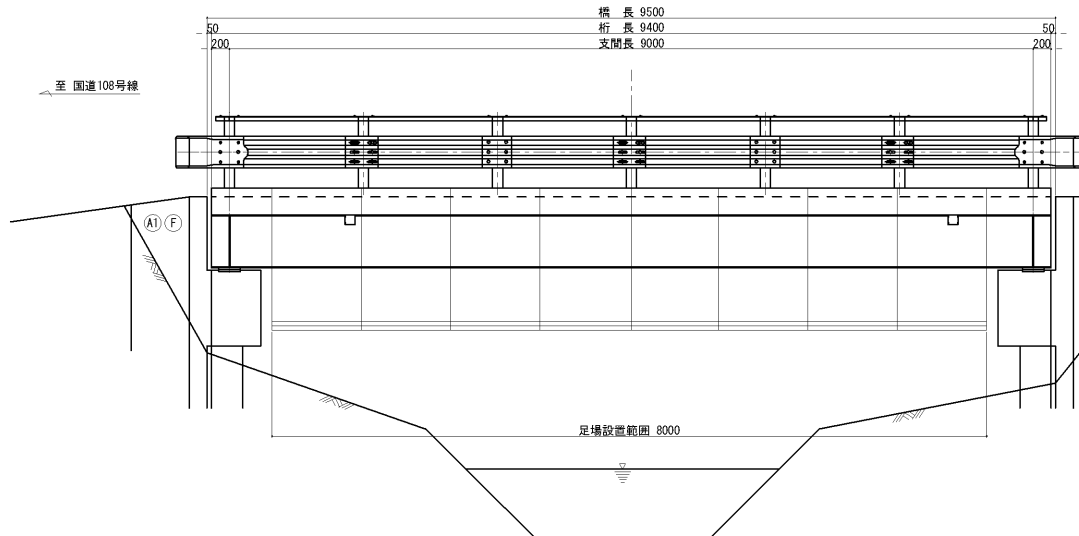
記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	形状	形状
E1	D13	300	2	0.995	0.30	0.6	□	
E2	D13	70	4	0.995	0.07	0.3	I	
C1	D13	100	2	0.995	0.10	0.2	—	
D13 合計 (1箇所当り)						1.1 kg		(SD345)
オールアンカー-M12 (1箇所当り)						4 本		

- 注記
1. 施工にあたっては、現場再測の上行うこと。その上で割付寸法の変更が必要となる場合は、発注者と協議を行い決定する。
表原材は超硬モルタル硬化後に施工を行うこと。
伸縮装置本体の連結は、伸縮装置の施工手順書を参照すること。
 2. 車道用 (横目地) 製品は実環境での負荷を想定した移動荷重にて30年相当の輪荷重走行試験を実施し疲労耐久性を確認した製品とする。
 3. 車道用製品は水密性向上のため荷重支持プレート及び連結バックンを有する製品とする。
 4. 車道用製品は段差・騒音の抑制のため後打ちコンクリートが露出しない製品とする。
 5. 路面として求められる水準以上のすべり抵抗を有する製品とする。

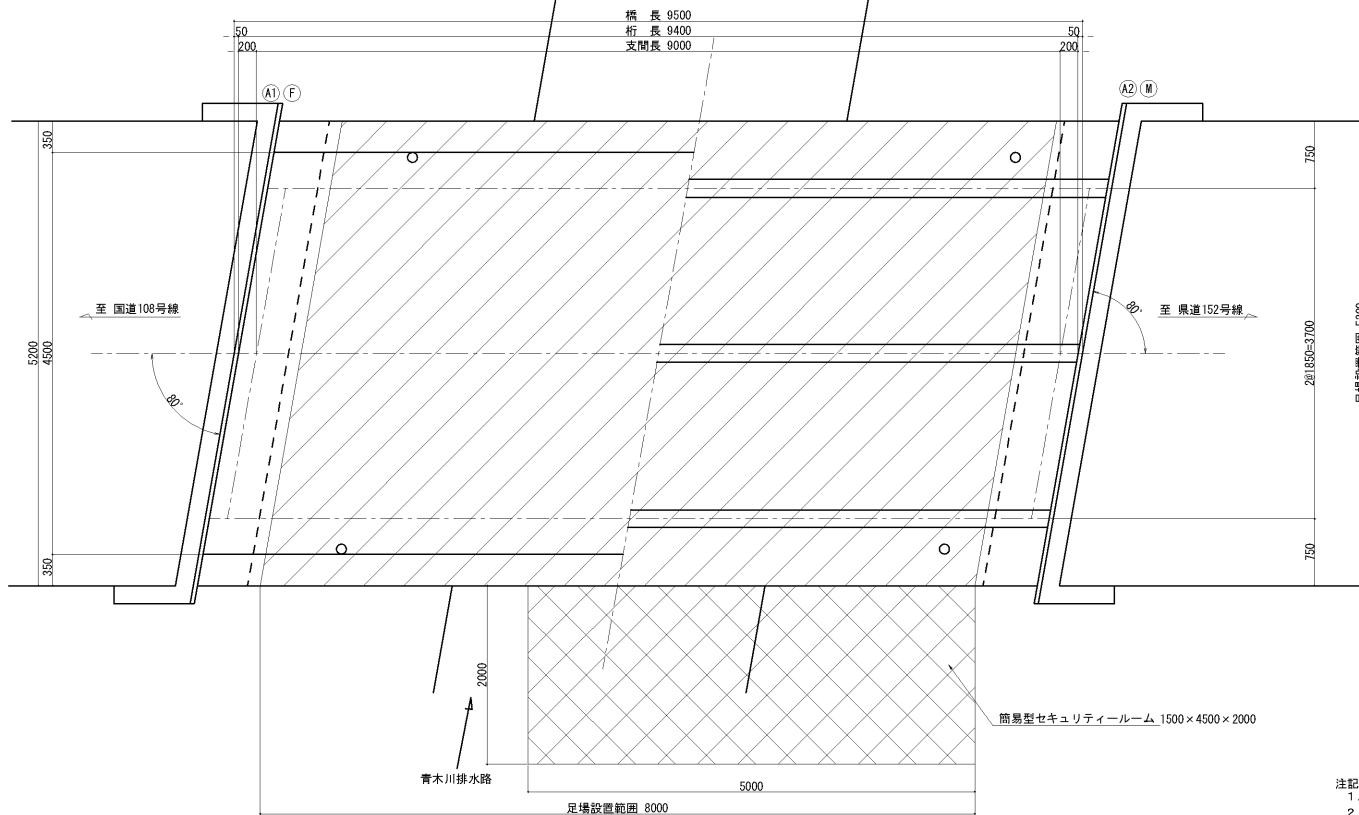
工事番号	号
路線名	涌谷田沼線
施工地名	涌谷 小谷地26-1 地内
工事名	令和7年度(補修補正)埋設管を構修架設補修工事
図面名	掃部沖名橋 伸縮装置設置工図
縮尺	図示 位置
設計者	図示 設計年度
	涌谷町 図番

側面図 S=1:30 掃部沖名橋 施工計画図(案)

断面図 S=1:30



平面図 S=1:30



数量表

種別	細別	規格	単位	数量	備考
足場工					
	吊足場	type-A+B	m ²	51.6	
	簡易鉄アリM-L	W1500×L4500×H2000mm 式	式	1	

注記

1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。
2. 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。

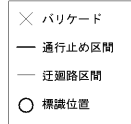
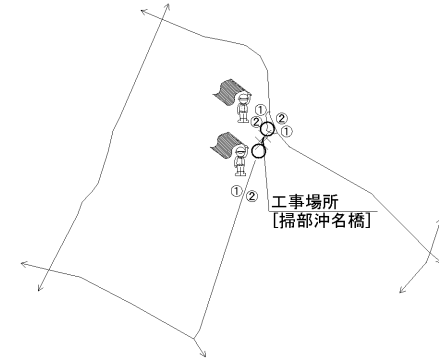
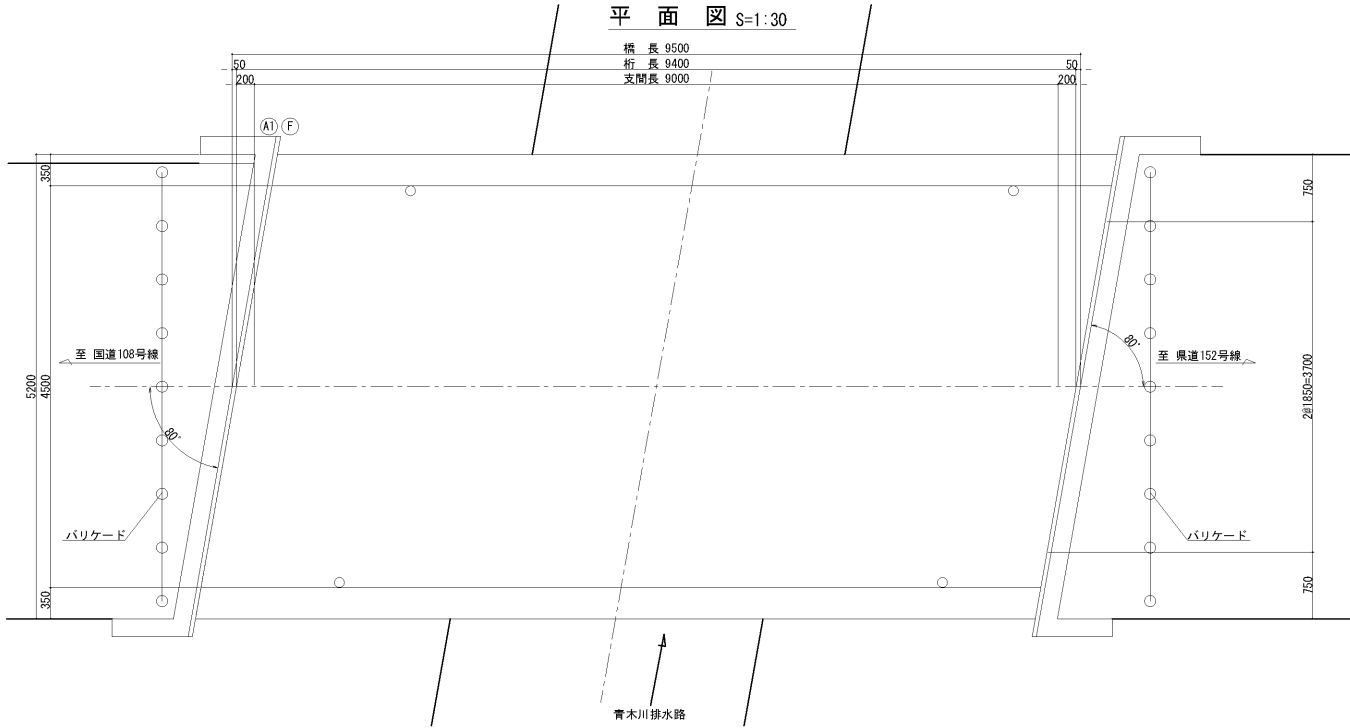
工事番号	号	
路線名	涌谷田沼線	
施工地名	涌谷 町	小谷地26-1 地内
工事名	令和7年度(河川)掃部沖名橋橋梁補修工事	
図面名	掃部沖名橋 施工計画図(案)	
縮尺	図示	位置
設計者		設計年度
涌谷町		図番

掃部沖名橋 交通規制図

全面通行止め

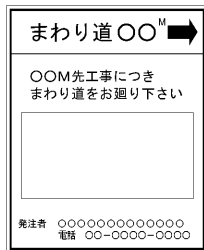
平面図 S=1:30

橋長 9500
桁長 9400
支間長 9000

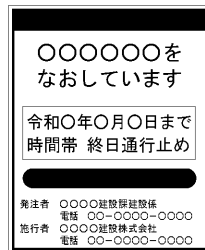


保安施設標準様式図

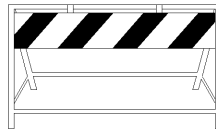
① まわり道標示板



② 工事名標示板



バリケード



誘導員



<交通規制内容>

規制形態	: 車両通行止め
規制時間	: 昼間 09:00~17:00
施工内容	: 橋面防水工、背面舗装再舗装工、伸縮装置補修工、防護柵補修工、鋼部材再塗装工、当て板補修工、支承補修工、上下部工橋修工、排水管補修工

工事番号	号		
路線名	涌谷田沼線		
施工地名	涌谷 市 小谷地26-1	地内	
工事名	令和7年度(河野補正)掃部沖名橋橋梁補修工事		
図面名	掃部沖名橋 交通規制図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
涌谷町	図番		

注記
1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。
2. 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。